

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	入居者様の快適な生活が送れるように支援していくと言う方針に対しての意味合いを全員が理解していない。またその理念に向けた行動が出来ておらず、話し合いの場にも参加者が集まっていない状況。	2ヶ月ごとに1回開催される運営推進委員会にて入居者様及び関係者様各位をお招きし、グループホームに対しての改善案、ご意見・ご感想を随時汲み上げさせて頂き、ユニットごとに反映させていく。	・運営推進会議についての早期通達化。 ・町内会長様、民生委員様併せ、地元住人の方々への通達化。 ・ご意見・ご感想を常に集荷できる目安箱の設置。	3ヶ月
2	10	新人職員の育成が出来ておらず、計画の内容にも知識不足の点が記載されてしまっている現状が確認された。	職員の教育が行えるように月1回の勉強会の開催を行う。(月1回のホーム会議内にて開催を予定)	・職員の不足の解消。 ・ベテラン職員及び新人の研修への参加。 ・ベテラン職員と新人職員、共同計画立案(3ヶ月間)。	3ヶ月
3	55	施設の外装及び、内装、周囲に関して年数の関係上の修繕及び清掃を行い、快適な環境を提供できるようにしなければならない。	半年後を目指して、施設及び周囲の修繕及び美化を行い、入居者様及び近隣の住人の方々、職員に至るまで気持ちの良い環境の提供を行う。	・施設破損個所の修繕。 ・施設周囲の環境整備。 ・室内の清掃。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。